

平成 27 年 8 月 29 日

P T A 第 4 回運営委員会

あしたのあさひ

～P T A アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

こんにちは。猛烈な暑さから、一気に涼しさを感じた今週。学校が始まる気持ちに切り替えられたでしょうか。生徒の皆さんは、「ひとつ上」を目指して、いろいろな場面で頑張ってくれました。文化祭から始まる今学期を大いに期待しています。

クリーンアップに、多くの方が参加していただき、感謝でいっぱいです。保護者の方だけでなく、生徒ボランティアもたくさん参加します。旭高校にボランティア文化が着実に広がっていると思います。P T A の皆様のご理解とご協力のたまものです。

学校の取組

【旭高校の『いのちの尊重に関する教育』の取組が、関東代表となりました。】

- 本校の取組が、道徳教育指導者養成研修の事例発表校として推薦されました。関東地区から推薦された教員が集まり、文部科学省からも講師や指導者がみえる研修です。
- すべての教科で「いのちの尊重に関する教育」を取り入れていることが高く評価されました。「いのち」そのものを扱いにくい教科（たとえば数学）でも、人権の視点を取り入れ、他者を尊重する気持ちを育てます。授業では、友だちの話をよく聞き、自分の考えを聞いてもらうということで、自分たちで考え、学びあうという授業が展開できています。
- 研修者からは、わかりやすい説明との声をいただき、質問もたくさんでした。旭高校の取組は、学校全体で組織的に展開していること、考え方を一枚の絵にして示せたことが素晴らしいとの講評をいただきました。

生徒の活動状況

【学校説明会】

- 中学生対象の第一回学校説明会を 8/21 に保土ヶ谷公会堂で行いました。午前と午後の 2 回で、中学生と保護者合わせて 536 名が参加してくれました。
- この日は、生徒会の生徒 6 人が受付、進行、学校行事や部活動の説明をしました。自分自身が感じている旭高校のいいところや、職員が説明した内容に関連して実際に授業を受けた感想、さらに、クイズで注目してほしい点を紹介するなど、まさに主役として頑張ってくれました。
- アンケートでは、生徒の動きを見て、旭高校の雰囲気は良くわかったという声を多くいただきました。

【ボランティア活動】

- 東日本復興ボランティア（7/24～26）として、サッカー部の 39 名が参加しました。気仙沼市の少年サッカークラブとの交流では、小学 6 年生で参加していた少年が中学 3 年生となり、再び参加してくれるなど、続けることの大切さを改めて感じました。震災については、地元の方からは「忘れない」というメッセージをいただきました。
- アサヒカップとして、バスケットボール部が 8/16 に、サッカー部が 8/19 に、それぞれ中学生のチームを招いて、教室を開きました。この様子は、9/4 午後 6 時から TV K テレビ「NEWS ハーパー」で放送されます。
- 都岡中学校の地域力活性事業「学習クラブ」に、旭高校の生徒が、ボランティアで参加しました。勉強をするために地域の小学生と中学生の 16 人が集まり、本校生徒は、近くのお兄さん、お姉さんという感覚で、分からないところを教えたり会話をしたり、参加者みんなが楽しく学ぶことができました。
- このほかにも、地域の活動に、部活動として、個人としてボランティアの参加がありました。昨年よりも夏休み中の活動数は増え、内容は濃くなっています。

【部活動】

- インターハイ出場に関して、応援ありがとうございました。女子バスケットボール部は、英明高校（香川）に延長で、惜敗しました。新体操の女子個人の部は、総合 10 位という成績を収めることができました。三ツ境駅のくまざわ書店さんには、出場案内を掲示していただきました。また、同窓会の方には、二俣川駅近くのお店等にポスターをはってもらいました。
- 合宿、練習試合、文化祭の準備、さらに横浜市の大会など、夏休み中も多くの部活動が、一生懸命活動を続けています。「ひとつ上」を目指して頑張ってくれたと思います。文化部には発表の機会が増えるよう、地域に働きかけていきます。